

令和5年度 第154回 奈良市清掃業務審議会 会議録概要版			
開催日時	令和5年12月21日(木)15時 30分から16時 50 分まで		
開催場所	奈良市環境清美工場 管理棟2階 見学者ホール		
出席者	委員	河野委員、作間委員、佐野委員、清水委員、田島委員、徳野委員、中岡委員、原田委員、福島委員、和田委員、【計 10 人出席】	
	事務局	山口環境部長、鈴木環境部次長、上田環境部理事、秋田環境部参事 廃棄物対策課：山森課長、市川課長補佐、森 収集課：山田課長、まち美化推進課：上村課長、環境清美工場：干場工場長 土地改良清美事務所：浦川所長、環境政策課：増田課長 クリーンセンター建設推進課：西川課長	
開催形態	公開（傍聴人 0 名）	担当課	環境部 廃棄物対策課
議題 又は 案件	・会長の選任 ・報告事項1 環境清美工場の大規模改修について ・報告事項2 ごみ減量の取り組みについて ・報告事項3 奈良市新クリーンセンター施設基本構想の策定について		
決定又は 取りまとめ 事項	1 委員の互選により、原田委員が会長に選任された。		
議事の概要及び議題又は案件に対する主な意見等			
<p>1. 会長の選任 委員の互選により、原田委員が会長に選任された。</p> <p>2. 報告事項1 環境清美工場の大規模改修について 事務局より、環境清美工場の大規模改修に至った経緯の説明と、工事のスケジュールや箇所等、今後の工事詳細について報告した。 (委員からの質問) 2号炉についてなぜ改修工事の対象でないのか。 →3、4号炉は破碎可燃物を処理しており、損傷が激しいため、最優先に改修工事を行う予定としている。 1号炉は最も古いため予備的に使用することとし、2号炉は、破碎可燃物を処理していないため、損傷が比較的少なく、定期的なメンテナンスと修繕により対応していくこととしている。</p> <p>なぜ臭いの問題が生じやすい夏に区域外処理を行おうとするのか。 →安定的な3炉運転を目指す関係上、やむを得ずこの時期になってしまう。地域の皆様には大変ご迷惑をおかけすることになるが、例えば薬品を散布するとか極力短い時間での処理を行うなど、いろんな対策を講じていく。</p> <p>3. 報告事項2 ごみ減量の取り組みについて 事務局より、令和4年度のごみ搬入量の実績を示し、奈良市一般廃棄物処理基本計画の目標値を達成するための、雑がみの分別周知、食品ロス削減の取り組み、小型家電の環境清美工場での回収等、奈良市の具体的な取り組みを説明した。</p>			

(委員からの意見)

減量について既に取り組まれているが、全体のごみに占める事業系ごみ割合が多い。事業者への働きかけを強化していくともっと大きく減っていくのではないか。

4. 報告事項3 奈良市新クリーンセンター施設基本構想の策定について、

事務局より、奈良市新クリーンセンター施設基本構想について報告した。本構想は新クリーンセンターの目指すべき方向性を伝えるものであり、施設規模、処理方式、事業手法を定める施設整備基本計画の基礎資料になるとの説明があった。

(委員からの意見)

地方交付税措置や省庁の補助メニューを調査し、使える補助制度は最大限活用するように。